

プラチナホームなのはな旭 令和4年度
自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日朝・夕礼時に企業理念を全職員で復唱に共有を図っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	旭町町内会に加入して地域のゴミ拾い活動に参加していたが、コロナ感染症が発症してからは参加できずにいる。	コロナ感染予防の為、令和3年・4年度は紙面開催している		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染予防の為、令和3年・4年度は紙面開催している	コロナ感染予防の為、令和3年・4年度は紙面開催している		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市の法人指導課・高齢者支援課・生活支援課と連携を取りながら運営を行っている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本社が策定した身体拘束廃止・虐待防止に関する指針を職員で共有し、三か月に一度身体拘束廃止委員会を開催している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	3か月に1度職員間で委員会を設けて会社独自のマニュアルに沿って検討し、会議内容を議事録に残している
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本社が策定した身体拘束廃止・虐待防止に関する指針を職員で共有し、三か月に一度身体拘束廃止委員会を開催している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月行われている研修会の中で常勤・非常勤を合わせた職員間で身体拘束廃止に関する研修を行っている
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	権利擁護についての勉強会を開催している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は家族と契約書の読み合わせを行いながら説明を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電話等で家族から頂いた意見には可能な限り対応している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族向けのアンケート調査を含め、定期的にご家族からの意見を聞き、運営に反映している
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月1回各ユニット会議を行い職員同士の意見交換をしている。また社長が2か月に一度来所し職員と意見交換をしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本社で処遇改善加算の申請を行い職員の給与に反映している。また職員の勤務時間や曜日についても現場で柔軟に対応している。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月内部の勉強会を開催しており、外部の研修にも参加を促している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	新任職員については独自の入職時研修を行い、仕事に慣れやすいように工夫している。他毎月研修会が行われており、非常勤を含めて参加している
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の観点から外部との交流は控えている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各入居者の能力に見合った仕事を見つけて、職員と協力し合いながら行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の観点から外部との交流は控えている。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各入居者の要望を踏まえ、各自に合った生活リズムで生活を送れるように支援している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を伺いケアプランに反映できるように努力している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族への聞き取り、職員の意見も踏まえてプランを作成している。非常勤を含む職員が参加する毎月1回のケア会議で問題点の抽出、3か月に1回モニタリング、半年に1回更新をしている
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各入居者の生活の様子を個人記録に記入し、職員で情報を共有している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	おひとりずつの日々の生活の様子は手書きで時間ごとの様子を記録、バイタル、食事摂取量はタブレットで管理している。緊急時には緊急用の個人ファイルが常備されている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の事情を踏まえ急な通院や入退院等の送迎を行っている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の観点から外部との交流は控えている。	コロナ感染予防の為、令和3年・4年度は紙面開催している		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医の古田医院と連携を取りながら月1～2回の往診、必要に応じて病院受診を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は入院先の病院へ地域医療連携シートを提供している。また退院時のカンファレンスに参加して施設で生活ができるかを検討している。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ナースが在籍していないので、施設で出来る事・出来ない事を説明して、医療行為が必要になった場合には医療設備の整った施設を紹介している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	がん末期や老衰の方を対象に、訪問看護を入れて看取りを行っている。看護師による職員への看取りの研修も行っている

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の勉強会や消防立ち合いの通報訓練を定期で			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回避難訓練を行い、その内1回は消防署員立会いの下、消火訓練や通報訓練を行い職員の技能向上を図っている。	コロナ感染予防の為、令和3年・4年度は紙面開催している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署立ち合いの元、職員の消火訓練を行っているほか、入居者も全員参加で避難訓練を行っている
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の研修でも接遇を取り入れて入居者を尊重した介護を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	非常勤を含む全職員を対象に接遇研修を行い、日頃から入居者様の誇りやプライバシーに配慮した対応をしている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日リビングでレクや体操を行っているが、参加を強制するのではなく、各自が自分の好む活動を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の能力に応じて後片付けを手伝ってもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に食事の際のお手伝いをして頂いている他、季節ごとのイベントで入居者が一緒に料理を作る機会がある
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おやつ時間に各入居者の好きな飲み物を提供している。水分摂取量の少ない入居者には必要に応じて経口補水液を提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態に応じて舌ブラシや口腔スポンジを使用し口腔ケアを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科往診時、歯科衛生士による口腔内のクリーニングをして貰っているほか、職員へのアドバイスも行っている
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の排泄サイクルを把握して、個別にトイレ誘導・オムツ交換を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットにより排泄サイクルを記録し、タイミングを把握し誘導している。便秘ぎみの方には運動によって排便を促せるように工夫している

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の人員や入居者の介護度の上昇した事もあり、日時を決めて入浴を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望に応じて、その都度居室で休んでもらっている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬チェック表を作成し誤薬や飲み忘れ防止を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ薬局があり、各ユニットに服薬チェックシートを設置し、誤薬等がないように努めている。入居者の薬の内容の変更や用法、用量の変更は申し送りノートやホーム内のSNSを利用し全職員に周知している
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各入居者の身体の状態に合わせて、床掃除や洗濯物の取り込み、洗濯物たたみをお願いしている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の観点から外部との交流は控えている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭トラブル防止の為に金銭の持ち込みは禁止している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各入居者が希望するときに電話を掛けたり、zoomを使った面会を行えるように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングは季節に応じた装飾を行い、入居者の方たちに季節感を感じてもらえるように配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	クリスマスリースや季節の飾りつけなどは入居者と一緒に作成し、季節感を感じられるように工夫している。また館内は完全バリアフリーで、廊下には手すりもつけられており、安全なつくりになっている

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている					
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の為に外泊・外泊の制限があるが、施設内の生活は本人希望の食べ物や飲み物を可能な限り提供している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に家族や居宅支援事業所の担当ケアマネからアセスメントを行い、施設のケアプランに活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月二回嘱託医の往診を受け、必要に応じて病院受診の援助を行っている。			
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床・就寝時間を決めていますが、時間に縛られることなく自分のリズムで生活を送っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していたベッドやタンスを自由に持ち込み使用している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室は完全に個人の空間になってより、仏壇などを自宅で使用していた馴染みのものを持ち込む等、安心してくつろげる空間となっている。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の観点から外部との交流は控えている。	コロナ感染予防の為に、令和3年・4年度は紙面開催している		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各入居者の身体の状態に合わせて、床掃除や洗濯物の取り込み、洗濯物たたみをお願いしている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会 話のひと時や、活動場面を日々の暮 らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じユニットの入居者同士が食事 やおやつの時間に一同に集い会話 を楽しんでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日数回レクリエーションの時間があ り、入居者同時の交流の時間になっ ている
48		本人は、自分なりに近隣や地域の 人々と関わったり、交流することが できている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染症予防の観点から外部 との交流は控えている。	コロナ感染予防の為、令和3年・4年 度は紙面開催している		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員 や地域の人々と親しみ、安心の 日々、よりよい日々をおくることが できている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同じユニットの入居者同士協力して 職員の手伝いを行ってくれたり、体 操や歩行練習、レクリエーション等を 積極的に行い生活している。	コロナ感染予防の為、令和3年・4年 度は紙面開催している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームは住宅街の中に建っており、近 隣住民の交流もあり、コロナ前は小学校 の運動会へ招待や町内会も事にも参加 していた。また交流が戻る事を期待した い